

# 生涯学習

## 幼児教育

### みて、みて

# ぼくのわたしの絵本

六月十三日、豊原保育所家庭教育学級で、「親と子の絵本づくり」が行われました。

下関市綾羅木で自宅を開放し、「トントン文庫」を開館しておられる木原豊美先生をお迎えして、「○○ちゃんの好きなもの」というテーマで取り組みました。

好きな食べ物や、動物、アンパンマンなどにまじって、おとうさん、おかあさんを色紙やクレヨンを使って一生懸命に描いている姿が会場のおちこちでみられました。

「おかあさん、アンパンマンはつよいんよー。」「ほんとう、バイキンマンをやっちゃえ。」  
出来上がった絵本には、子どもの夢がいっぱいつまっています。



1 「○○ちゃんのすきなもの」色紙とクレヨンでつくるぞー



2 お母さんとお話ししながら作っていきます



3 だんだんできてきました熱中しています



4 出来あがった絵本をみんなの前で発表しました

絵本づくりを終えて、親子でひろげている顔には、世界で一冊しかない貴重な絵本に満足そうな笑みが広がっていました。

保護者からは次のようなメッセージが寄せられました。

◎わが家の宝物ができました。既製の絵本より、ずっとずっと価値があります。

◎はじめは気が重かったが、作り出すと面白くて親の方が童心に帰ったようで熱中してしまいました。

◎子どもの想像力の豊かさにおどろかされました。

秋にもう一度やりたい、という意見が多くあり、さらにすばらしい絵本ができあがることと思います。